



# ホームステイの思い出



## Precious memories with my host family

大垣市立東小学校 6年 野上 優衣

「私のホストファミリーはどんな人達だろう？優しいかなあ…？」

ホストファミリーの事を思いながら日本でお土産選びをしている時、私はわくわくする気持ちをおさえられませんでした。出発する1日前にやっと連絡先がわかり、メール連絡や写真を送りあったので、初めて会った時の戸惑いはありませんでした。でも、初めてのホームステイで少し不安な気持ちはありました。

私のホストファミリーは、ご主人のダーレンさん、奥さんのビアンカさん、7年生のミラちゃん、5年生のハンター君の4人家族でした。写真で見た時も優しそうだったけど、実際会ってみたら、明るい家族で優しくてホッとしました。

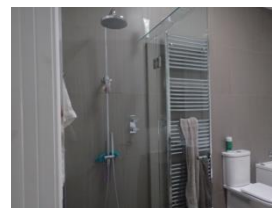


私はこの家で特にびっくりしたことが3つあります。

1つ目は、庭も家も広かったことです。庭にはトランポリン、バーベキューセット、テーブル、椅子がありました。家の中も、キッチンが広いし、ソファは大きいし、びっくりしました。1階建てなのに、シャワールームも2つあったし、トイレも3つありました。



2つ目は、シャワールームがガラスということです。日本は湯船とシャワーがあって、壁もガラスではないけれど、オーストラリアはシャワーだけで、壁もガラスで囲まれていて、本当にびっくりしました。1日目は疲れたし、オーストラリアは冬で寒かったので、湯船にゆっくりつかりたいなあ、と思いました。



3つ目は、夜にデザートを食べることです。私はホストファミリーと夜に「ボスベイビー」や「モアナ」の映画を観ました。その時にみんなアイスやキットカットをたくさん食べていました。夕食後だというのに、夜9時くらいにこんなに食べるなんてとてもびっくりしました。私も少しいただきましたが、みんなほど食べることは出来ませんでした。



ホームステイ3日目に家族みんなでメルボルン動物園に行きました。コアラやワラビー、ウォンバットなどオーストラリア固有の動物をたくさん見ることができました。日本では、ガラスの柵でおおわれていて近くで見られないけれど、オーストラリアはガラスでおおわれていなくて、その方が動物がよく見えるので、日本でもそうしてほしいと思いました。そのあと、メルボルン市街の観光も連れて行ってくれました。街並みが

とても綺麗で、アーケード街では床にもタイルで絵が書いてあり、とてもおしゃれでした。カフェも多くて、飾られているスイーツがどれもおいしそうでした。街の中を走るトラム（路面電車）にもびっくりしました。

日本の家族と離れて、初めてホームシックも経験しました。寂しくて仕方がなかった時に、ホストファザーが「We are going to be your new family.」と言って、慰めてくれて嬉しかったです。今度は日本の家族みんなでミラちゃんのおうちに遊びに行きたいです。



## たくさんの人々とあえたホームステイ

大垣市立興文中学校 1年 原 康晟



ヨシコさんと僕

僕のホストファミリーは出発の1日前に決定しました。ヨシコさんという日本人の方でした。本当はアモンド君という同じ年の男の子の家に決定していましたが、その家には猫がいて、僕は猫のアレルギーがあるので、アモンドくんの家には行けませんでした。最初、1人で海外に何日間もいるのは、とても緊張しましたが、ヨシコさんが僕を孫のようにかわいがってくれて、本当に優しくしてくれたので、とても安心して毎日、過ごすことができました。毎日、色々な人といろんな所に行き、とても楽しいホームステイでした。

1日目、ヨシコさんの娘・マリコさんのところにホームステイをしている心愛さんと、ヨシコさんと3人でカレーライスを食べました。僕はカレーライスが大好きで、オーストラリアでカレーが食べられると思っていなかったで、とても感動しました。本当においしかったです。

2日目、グレンアイラカレッジでアモンド君と一緒に勉強しました。緊張してあまり話せなかったけど、クラスメイトはとてもフレンドリーでたくさん話しかけてくれました。夜は、マリコさんのお宅でステーキを食べました。子供のマリ君、ルイちゃん、そして心愛さんと一緒にボードゲームをしました。とても楽しかったです。



アモンド君と僕

3日目、朝はマリコさんの家に行き、皆でボードゲームをして、昼は「寿司ハブ」で寿司を食べました。僕はまぐろとたまごを食べました。日本と同じ味で美味しかったです。午後からはアモンド君と2人でコンピューター教室へ行って、「MICROBIT」や、時計などプログラムしました。自分たちで作って動かすのが、とても面白かったです。

その後、海を見に行ったらけれど、とても寒くて、カフェでココアとチョコレートムースを食べました。アモンド君はフランス人ですが、日本語の勉強も学校でしているようで、日本語で書いた手紙をくれました。富士山の絵が書かれていました。僕はフランス語がわからないので、日本語が書いてすごいなと思いました。「NARUTO」の英語で書かれた漫画のお土産を渡したら、とても喜んでくれて、お礼にメルボルンの建物のイラストと説明が載った素敵な本をくれました。皆からアモンド君と僕は似ていると言われ、嬉しかったです。優しく、大人しい所が似ているようです。

4日目、メルボルンのシティに、先生達とヨシコさんの友達のジャックさんとで観光しました。教会では音楽が流れていて、それを聞きながら綺麗なステンドグラスをみて写真を撮りました。

最後の夜は、今回の旅で、一番美味しかった料理、ヨシコさん手作りのラム肉のステーキを引率の先生達と一緒に食べました。とても柔らかくて、今までの人生で食べたものの中で一番美味しいと思いました。



おいしかった RAM

毎日、色々な所に連れて行ってもらい、とても楽しくて、まだここにいたいという気持ちと早く日本に帰って、友達や家族に会いたい気持ちがあり、複雑な気分になりました。

オーストラリアの人達は優しく、僕にたくさん話しかけてくれました。僕も日本で海外の人にあったら、話しかけたり、助けたりしたいです。少し照れくさいけれど。。。またヨシコさんとアモンド君に会いにグレンアイラに行きたいです。

## ホームステイを終えて

大垣市立西部中学校 2年 岩津 有希

ホストファミリーと初めて会った時は緊張して、とてもどきどきしていました。しかし、ホストファミリーがとても積極的に話しかけてくれたので、僕もリラックスして話すことができました。

家に着くと、まずその大きさにびっくりしました。部屋が多く、さらにどの部屋も広かったです。地下にはプレイルームもあり、そこでホストブラザーとエアホッケーをして楽しみました。ホストブラザーの友達の家にもプレイルームがあったので驚いていると、どこの家にもあるよと言われ、とてもうらやましく思いました。オーストラリアは国土がとても広いだけでなく、家も広く、日本との違いを感じることができました。



また、事前研修で、オーストラリアでは水がとても貴重だという事を学びました。しかし僕が滞在していた間、この家では毎日お風呂に入ることができました。正直、湯船に浸ることができるとは思っていなかったなので、寒がりの僕は体を温めることが出来てとてもうれしかったです。

夕食には牛肉のステーキができました。僕はカンガルーの肉を食べてみたかったのですがホストマザーに聞いてみたら、「家では猫の餌にしているよ。」と言われ、とてもびっくりしました。でも、オージービーフもおいしかったです。

日曜日は、動物園に連れて行ってもらいました。そこでは、コアラやディンゴなどの多くの動物と触れ合ったり、蛇を首に巻く体験をしました。日本の動物園とは少し違って、動物が放し飼いになっていたため、身近にタスマニアデビル等のオーストラリアならではの動物も見ることができました。とても貴重な体験でした。

ホームステイの最後の夜はとても短く感じられました。ホストファミリーとボードゲームをしていたけれど、今日が最後と考えるととても淋しく、あまり楽しめませんでした。そして翌朝、ホストファミリーとお別れをしました。女の人とは握手をして、男の人とはハグをしました。

ホームステイでは英語で言い表せないことがあったので、もっともっと英語を勉強して、たくさん話せるようになりたいと思いました。そして、またこのような機会があったら、この経験を活かしてもっとコミュニケーションをとれるようにしたいと思いました。



## 5 日間のホームステイ

大垣市立星和中学校 2年 岡田 真紘

私のお世話になった Dutta 家はお父さん、お母さんホストスチューデントの Radhika(ラディカ)、そして弟の 4 人家族でインド人でした。ラディカの家はアパートの 2 階の部屋でした。私はラディカと同じ部屋でした。ラディカは日本のアニメが大好きで特に「クレヨンしんちゃん」が好きだったので暇さえあればテレビでクレヨンしんちゃんを観ていました。私のお土産もアニメのキャラクターものが多くて喜んでもらえました。



Dutta 家の食事の時間は昼ご飯が 15 時から 16 時にあって、夜ご飯が 21 時から 22 時と日本と全然違ってびっくりしました。インド人なので夜ご飯はカレーとサラダでした。夜ご飯はずっとカレーでした。ベジタリアンなのでお肉やお魚は食べないそうです。初めて本場のカレーを食べました。日本のルーとは違い、香辛料が効いていてちょっと辛かったです。

日曜日にラディカと私とラディカの友達のコルとなつみと日本でいうとイオンモールとアウトレットをくつつけた感じの大きなショッピングモールに行きました。コルもなつみも学校で仲良くなったのでたくさん話すことができ嬉しかったです。かわいい服を見たり、ネイルしたり日本で普通に友達と遊んでいるみたいでした。お寿司屋さんもありました。でも、シャリが固められていて日本とはやっぱり違うんだな、と実感しました。ショッピングモールの中に日本のダイソーもありました。商品名など日本語で書かれていました。でも、オーストラリアでダイソーはすごく有名で人気みたいでした。

ホームステイの前はオーストラリアの家庭の様子などは日本とあまり変わらないのではないかと考えていたけど、5 日間のホームステイを通してオーストラリアでは広大な土地に一階建ての家がとても多いことや洗濯を毎日しない事など日本と異なる部分をたくさん発見することが出来ました。そして私はオーストラリアの家庭や生活だけでなくインドの生活・文化についても知る事ができました。特に食事では箸などは用いず、手を使って食べる事や日本人がお茶を飲むように毎日チャイを飲む事を知りました。

日本人は英語に苦手意識を持っていて、正しい英語で話さなければいけないと思いがちです。しかし、今回のホームステイを通して相手に伝えようとする思いと相手が理解しようとする思いがあれば多少の間違いは問題ではなくコミュニケーションを図ろうとする気持ちが大切なんだと知りました



## 大好きなホストファミリー

大垣市立上石津中学校 2年 三宅 泉恋

私がホームステイしたのは、Lowe 宅です。私の所にホストファミリーの情報が来るのに時間がかかってしまい家族構成や Charlee 以外の家族の名前を知らないままオーストラリアに行きました。不安がどんどん大きくなっていました。でも、そんな気持ちを吹き飛ばしてくれるくらいホストファミリーは皆とても優しく迎えてくれました。

まず私は自己紹介をして仲良くなろうと思っていました。私が「I like meat.」というその日から毎日のように出てくるようになり、色々な種類のお肉が食べられて嬉しかったです。

また、私がバスケットをやっているのを知るとホストファミリーの8歳の長男、Asher もやっていることを教えてくれ、何度か試合に連れて行ってくれました。日本とは少し違うルールがあって見て面白かったです。

週末は、動物園とメルボルンスターに連れて行ってもらいました。動物園では、様々な種類の鳥や動物がいました。日本でよくみられるゾウやキリンのような大きい動物はいなく、鳥や夜行性の小さい動物が多くいました。餌をあげられたり、触ることができたりしました。一番見たかったコアラとカンガルーは、触ることはできなくても近くで見ることができました。日本の動物園では見たことがないものがみられてすごく興奮しました。



メルボルン観光では、海に連れて行ってもらったり、メルボルンで有名な遊園地を見させてもらったりしました。メインは、メルボルンスターという観覧車に乗ることでした。メルボルン全体が見渡せた感じがして得した気分でした。最後は、スーパーマーケットに行きました。日本とは違い屋外で驚きました。そこでお土産を買いましたが、観光客向けの商品が多くあってほぼそこで買ってしまいました。

私はこのホームステイを通して、現地の人の話す速さに自分がついていけないことを知りました。私は幼稚園の頃から英語を習っていて外国人の先生と英語で話すことが日常だったので、英語には少し自信がありました。しかし、初めて海外に行くと周りにはみな外国人で、英語を使って自分の力だけでコミュニケーションを取っていかなければなりません。そのために、自分一人の力で接していけるようもっと英語力を高めようと思ったし、そこで学んだ英語や文化を広めたいこうと思いました。また、ホストファミリーとも仲良くなることができたし、オーストラリアのいいところをたくさん知ることができたので、もう一度行ってこの経験を生かしていきたいと思うことができました。



## 5日間のホームステイ

大垣市立興文中学校2年 山 慧太郎

ホームステイは僕にとって一番の楽しみであり、一番の不安でもありました。初めてホストファミリーと会ったときは、とても緊張していましたが、とても優しく笑顔で接してくださったので、安心しました。猫のミンゴもいました。可愛かったです。外国の方と英語でコミュニケーションをとるのは初めてだったけど、ゆっくりと話してもらったのもあって、なんとか会話が出来ました。

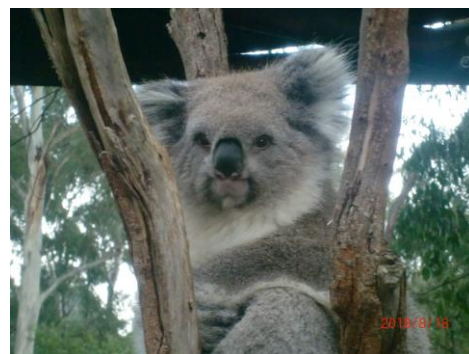


ホストファミリーは、アサイドリンクというシャーベットを売る仕事をしていました。飲ませていただいたのですが、凍らせた果物から作られていて真冬だったので、体の芯から冷えてとても寒かったです。初日の夜には、カンガルーの肉をいただきました。オーストラリアでやってみたかったことの一つだったので、とても嬉しかったです。硬かったので食べるのに時間がかかってしまったけど、とても美味しかったです。2日目の夜にはカレーを食べました。ルーがシチューみたいな色をしていて、お米は日本みたいに太くなく、細長いものでした。これはこれで美味しかったです。



事前研修では、オーストラリアは水が貴重だからシャワーは短くするよう、言われていましたが、特に指定はありませんでした。ただ、湯船にお湯が入れられなかったのが寒かったです。

休みの日には、サイエンスミュージアムや車で2時間弱かかる、メルボルン市外の動物園へ行きました。動物園では、コアラやカンガルー、ウォンツバット等オーストラリア特有の動物を間近で見ることができました。コアラには一匹赤ちゃんもいました。とても小さくて、可愛かったです。園内では、鳥が放し飼いされていてびっくりしました。サイエンスミュージアムでは、歴代のPS4が飾ってあったり、ジェット機の模擬操縦をしたりしました。とても楽しかったです。また、ビーチにも行きました。冬の潮風は日本の雪の日など比べ物にならないくらいに寒かったです。砂の粒が大きく、水を多く含んでいました。美術館では、葛飾北斎の絵もたくさんあったので、びっくりしました。



今回の研修を通して、英語でコミュニケーションをとることに楽しさを感じることができました。しかし、自分の英語力のなさを感じました。自信がなく、あまり自分から話しかけることができませんでした。これからはもっと英語を勉強して自信をつけて、またオーストラリアに行きたいです。

## アナザースカイ

大垣市立西中学校 2年 山村 心愛

私はホームステイを通して英語で話すことに自信をもちたい。積極的に話しかけることができるようになりたいと思っていました。

私のホストファミリーは Francis 家の皆さんでした。父の Andrew、母の Mariko、長男の Murray、長女の Rei の 4 人家族でした。母の Mariko は日本語が少し出来て、兄の Murray は日本語を勉強したいということで、英語と日本語を交えて会話をしました。



4 日目に、昼食に回転寿司を食べに行きました。日本の回転寿司と比べて「にぎり」より「巻き寿司」が多くみられました。たくさんの方が寿司を食べている姿を見て、とても嬉しく思いました。その後にオーストラリアで人気の文房具店に行きました。日本では、ペンやマジックが 1 本ずつ売っているのを多く見かけますが、オーストラリアではセットになっているものが多く、日本よりも少し高いなあと感じました。とても可愛いものばかりで、選ぶのに時間がかかりました。午後はメルボルンの街に行きました。

美術館は絵画が少なく、個性的で素敵な作品が多くみられました。他にも ترامという路面電車が走っていました。観光客用の無料で乗れる物もあり、たくさんの方が利用していて、とても便利だなと思いました。

5 日目の朝食に、料理が得意な父 Andrew がダッチパンケーキを作ってくれました。美味しすぎて 2 枚も食べてしまいました。その後に知人の誕生日会に行きました。Rei は私が持ってきた折り紙を楽しんでくれて、ずっと持ち歩いてくれていました。私と Rei が折り紙で遊んでいたら、何人かの子供たちが興味を持ってくれて、風船や紙飛行機の折り方を教えました。完成すると、みんな楽しそうに遊んでいて、折り紙は世界共通なのだと思います。皆に喜んでもらえて、本当に良かったです。



オーストラリアにはいろいろな国の人がいて、たくさんの方が英語で理解し合っていることを実感しました。そして、私を迎え入れてくれた Francis 家。私の第 2 の家族です。この貴重な体験は一生の思い出です。

最後に Mariko はこう言いました。

「もっと英語を勉強して、また来てね」

私は頷いて Francis 家と別れました。このホームステイで、英語での会話が続かなくて、自信を失うことも多くあり、積極的に話すことができなくなっていました。でも Francis 家の皆さんは、私にたくさん話しかけてくれて、私も少しずつ英語での会話に自信をもつことができました。そして、たくさんの人と関わっていく中で積極的に話す姿勢も得ることができました。



今よりも、もっと英語が上手になって、またオーストラリアに行きたいです。



## ホームステイを振り返って

大垣市立東中学校 3年 種田 逸真

僕は、この研修が初めて海外に行く体験だったので、すごく楽しみでワクワクしていた反面、向こうでしっかり出来るかなと、不安もありました。

グレンアイラ市に着き、歓迎レセプションが終わると、その後、グレンアイラカレッジでホストファミリーと対面するはずだったのですが、友人の方が迎えに来てホストファミリーの家まで送ってくれました。

僕が初めに会ったのは、お父さんではなく、高校2年生のトシくんでした。学校から帰ってきたところでしたが、服装は制服ではなく、スポーツウェアのような服を着ていました。学校帰りは家の近くにあるジムに寄ってから帰るのが、日課だそうです。日本でも僕は本格的に体を鍛えたりするジムには行ったことがなかったので、頼んでみると、「今度連れて行ってあげるよ」と、日本語で言われました。僕は、とてもびっくりしてしまい、声が出ませんでした。お母さんが日本人なので、日本語はだいたい話せるそうです。

夜にお父さんと会いました。とても優しい人で、お父さんも日本語を話せましたが、出来るだけ英語で話してくれました。



土曜日には、お父さんに動物園へ連れて行ってもらいました。オーストラリアの動物で、有名なコアラやカンガルーだけでなく、エミューやタスマニアデビルなど、日本ではあまり見ることのできない動物まで見ることができました。

また、夕食でカンガルーの肉と、ラム肉を食べさせてもらいました。カンガルーを食べるといことは考えられないことだったけど、食べてみると、柔らかくてとても美味しかったです。

色々、日本では味わうことのできない体験ができ、本当に良かったです。また、英語でコミュニケーションをとることは、難しいということが改めてわかりました。英語は、世界の多くの国々で話されている言葉なので、「英語」というものの存在はとても大きいと思いました。

日本にも、観光で訪れている外国人の方が増えてきました。大垣もそうです。このような中、英語が上手に話せるようになれば、コミュニケーションをとることのできる人が増えるので、英語をさらに勉強して、受験や今後の人生につなげていけるようにしたいです。



飼い猫の Baba

## 5日間のホームステイを終えて

大垣市立赤坂中学校 3年 吉田 菜乃花

私が初めてホストファミリーと会ったときはとても緊張していて、どうしたらいいのか分からなかったけど、お世話になったミラー家の皆さんは、とても親切で、私が質問する前に色々な事を説明してくれたし、フレンドリーに接してくれて、私もすぐに馴染む事ができました。

4日目には、動物園に連れて行ってくださいました。そこでは、サファリツアーに行ったり、オーストラリアコーナーに行ったりしました。あいにく天候が悪かったため、全ての動物を見ることはできませんでしたが、とても楽しい1日になりました。

5日目には、メルボルンにある、クイーンビクトリアマーケットやメルボルン市内を案内してくださいました。そこで見て凄く印象に残っているものは、Licorice(リコリス)という黒色のグミのようなものです。それは、自分の味覚には合わず、ゴムを食べているみたいでした。でも、良い経験になったので良かったです。そのあとも、ヤギの肉を食べたり、お土産を買ったり、ソーセージやおいしそうなケーキが売っているところをめぐるしたりしました。また、メルボルン市内では高級そうなブランド物が売っているデパートに行ったり、小さな店が並んだ路地裏に行ったり、ホットチョコレートを買ってもらったりしました。かわいい絵が描いてある絵葉書屋さんもありました。メルボルン市内をめぐるときに虹も見ることができ、この日は、いろいろな発見があつてとてもハッピーな日になりました。

その日の夜には、グレンアイラロータリークラブ主催のBBQパーティーに行きました。久しぶりに大垣市のメンバーと会うことができとてもうれしかったし、食べ物もおいしかったです。そこでは、扇子がなかったけれど、日本舞踊を踊ったり、アカペラで歌を歌いました。そのあとは、私たちのホストファミリーの皆さんが、オーストラリアの歌を歌ってくれました。歌い方が陽気だったわりに、歌の内容がお化けの歌だったことはびっくりしたけれど、歌ってくれてとても嬉しかったです。5日目はすごく充実した1日でした。

この5日間のホームステイで本当に色々な経験をして、ホストシスターのエライザと折り紙を折ったり、私が持ってきたお土産のけん玉と一緒に遊んだり、たくさんコミュニケーションをとることができました。そこから私は、コミュニケーションの大切さがよく分かりました。自分が何かを伝えたいとき言葉だけじゃなくて、身振り手振りで伝えようとすれば分かってくれようとするし、伝わった時はもっと仲が深まることをいろいろな場面で実感しました。この経験を無駄にしないよう日常の中でもっとコミュニケーションをとっていきたいです。ここに書ききれない程のたくさんの発見を今後に生かしていきたいです。



ホストファミリーの皆さんと



メルボルン市内で

平成 30 年度フレンドリーシティ交流事業

第 7 回 大垣市小・中学生オーストラリア・グレンアイラ市研修派遣事業  
研修スケジュール

<事前研修>

日時・内容	
全体説明会	6 月 16 日(土) 13:30~16:00 ・自己紹介 ・説明(日程、渡航手続等) ・次回の研修に向けて
第 1 回	6 月 30 日(土) 10:00~16:00 ・係、団の目標について ・パフォーマンスについて(大垣紹介、日本舞踊、合唱に決定) ・英語学習
第 2 回	7 月 8 日(日) 大雨警報のため中止
第 3 回	7 月 25 日(水) 9:00~16:00 ・英語学習 ・パフォーマンスの練習
第 4 回	8 月 4 日(土) 9:00~15:00 ・パフォーマンスの練習 ・先輩団員との交流会 ・オーストラリアについて
最終説明会	8 月 4 日(土) 15:00~16:30
第 5 回	8 月 8 日(水) 9:00~16:00 ・英語学習 ・パフォーマンスの練習 ・現地での研修に向けた最終確認
出発式	8 月 8 日(水) 11:00~11:30

派遣期間	8 月 15(水) ~ 8 月 22 日(水)
------	-------------------------

<事後研修>

日時・内容	
第 1 回	9 月 15 日(土) 10:00~16:00 ・報告資料作成
第 2 回	10 月 21 日(日) 10:00~16:00 ・報告資料作成 ・報告会の練習
第 3 回	11 月 3 日(土) 13:00~16:00 ・報告会の練習
報告会	11 月 24 日(土) 13:30~15:30



【第7回 大垣市小・中学生オーストラリア・グレンアイラ市研修派遣報告書】

編集 公益財団法人 大垣国際交流協会

大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階

TEL 0584-82-2311

FAX 0584-82-2314

URL <http://www.i-oiea.jp>

発行 平成30年11月